

みなみさんりく

議会だより



No. 56

令和2年 2月 1日発行

特集

台風 19 号被害甚大

P2

防潮堤・道路建設に疑問の声も	—	〈議案審議〉	P 4
台風19号で2億円を超える起債	—	〈補正予算〉	P 5
ここが聞きたい	—	〈一般質問〉	P 6
11月臨時議会・12月定例議会・臨時議会	—	〈議案一覧〉	P15
道路補修など関係省庁に要望活動	—	〈特別委員会〉	P16
議員定数削減	—	〈特別委員会〉	P17
請願・陳情	—	〈議会へのお願い〉	P19

《表紙》役場1階マチドマに設置してある水槽で産卵したクチバシカジカの愛らしい姿。オスが卵の世話をする。

台風19号被害甚大

令和元年10月12日
夕方から13日明け方にかけて、強い勢力で到来した台風19号は、当地方としては記録的な暴風・豪雨・大きなシクを伴って襲来しました。町の気象観測点で11日の降り始めからの総雨量は304.5mm(アポーツ交流村)・時間雨量の最大は伊里前

観測点で49mm・最大風速は37.3m(アポーツ交流村)を観測しました。時間雨量49mmは、平成17年の53mm以来でした。町内各地で道路・河川への被害や土砂崩れ、断水、停電が発生し、ライフラインにも大きな被害が発生しました。

志津川小森地区の熊田橋



入谷押館地区 水田への土砂流入



被害総額 34.2億円

被災箇所(1月15日現在)

- 床上浸水…………… 9件
- 床下浸水…………… 10件
- 道路… 143か所
- 林道… 137か所
- 農道・水路… 84件
- 上水道施設… 9か所
- 農地… 294か所
- 河川…………… 75か所
- 漁業施設・カキ養殖いかだの滅失・中破等… 25台

人的被害なし

町では台風19号の接近に伴い、早い段階から気象情報の把握とその後の展開を予測し、夜間の避難が困難になる前に自主避難所、指定避難所8か所を開設し避難を促し、185名が避難するなど安全確保に努めた。

避難所と避難者数

- ベイサイドアリーナ… 19人
- 入谷公民館…………… 8人
- 戸倉公民館…………… 15人
- 歌津公民館…………… 2人
- 入谷小学校体育館… 111人
- 志津川小学校体育館… 1人
- 歌津中学校体育館… 3人
- 活性化センターいずみ… 22人
- 名足保育園…………… 4人

中央要望にも盛り込み 復旧へ全力を

一般質問でも多数が取り上げた!

震災からの復興支援に對する政府要望活動と同時に台風19号の復旧についても要望した。国・県道や町道、河川などの復旧・改修工事が遅れた場合、復興・創生期間内完了と取り組んでいる事業への遅れが危惧されるので、国・県道の早期復旧と、町道・河川の復旧への補助事業に特段の支援を講ずること。災害復旧事業の査定の簡略化と申請スケジュールを現場の進捗に合わせた柔軟な対応などを要望した。

復旧に町単独の予算も投入

国の補助事業は、発災から2か月以内に査定開始で、1か月で工事箇所数・事業費の精査が必要で、緊急性のあるものは既存の予算で、査定に間に合わせるための事業委託等は予備費を充当する。

以前に行行政視察で訪問した熊本県御船町議会の皆様は11月19日、当町にお越しください、今回の台風19号被害に対する見舞金をいただきました。御船町議会の皆様、ありがとうございました。

議会としての対応は?

10月16日に全員協議会を開催し、町から台風19号に対しての備えについてと被害状況、本日までの対応や、国への補助金申請の準備について説明を受け、議員からは台風襲来時の町の対応への確認や被災箇所の申請、復旧工事への考え、国の補助金制度活用、被災農地の復旧、情報発信方法などへの考え方を質しました。

11月5日、全議員で現地視察をしました。戸倉西戸地区では、流入土砂に覆われた露地栽培の小松菜畑の様子や畑の流出状況を確認、入谷天神地区では、河川護岸道路の損壊、水田の流出・土砂流入、法面崩壊状況を確認、歌津地区では、峰畑団地進入路の法面亀裂、排水路、中在地区では住宅敷地内への土砂流入を確認しました。

▼歌津峰畑団地の法面



▲戸倉在郷地区農地に大きな被害

台風19号で 2億円を超える起債(借金)

**正 補
算 予**
12月定例会

- 農林施設災害復旧事業債
1億970万円
- 公共土木施設災害復旧事業債
9,500万円
- 災害廃棄物処理事業債
1,150万円



- 農業施設災害復旧工事
72力所 9,600万円
- 道路災害復旧工事
40力所 7,410万円
- 林道復旧整備工事
68力所 6,970万円
- 災害廃棄物処理委託料
300 t 2,300万円
- 河川災害復旧工事
5河川 370万円

※起債……町がする借金のこと。地方公共団体が実施する地方債を指す。目的は災害応急事業費、災害復旧事業費、災害援助事業費の財源などがある。その他には過疎事業債もある。

**台風関連の
時間外手当は**

問 (及川幸子議員) 台風19号の時間外手当は。
答 500万円を計上。
問 (今野雄紀議員) のべ人数と残業時間は。
答 職員数で114名が対象で約5000時間。

しおさい通り等の低地部の利活用は

問 (千葉伸孝議員) 志津川市街地の南町の売り払いの状況は。
答 市街地全体で4千万円の売払の収入で、南町は17・40㎡で金額は26万4千円となった。
問 今後のしおさい通りの整備の考えは。
答 今年度は土地活用促進などのモデル調査を実施し、来年度は民間業者と地権者による社会実験等を継続して協議をする。
問 復興期間は10年だが、道の駅やしおさい通り整備は復興事業と捉えていない。

特別職(町長・副町長・教育長) 期末手当の支給割合を0.05カ月アップへ 議員については議会の提案を

**時 臨
会 議**
12月

職員給与、特別職の報酬の改定の議案に議論白熱

問 (今野雄紀議員) 議員の期末手当のアップをしない理由は。
答 2年連続の否決では提案できず、ボールは議会に投げられている。
問 アップの基準は。
答 前回の提案の率で。
問 (千葉伸孝議員) 上げることで職員は集まるのか。
答 全国でも職員が3年以内に3割が退職している。また、職員確保の手立て。採用のためなのか。離職防止のためなのか。
答 両方の側面がある。

討 論

反対 (及川幸子議員) 町の低所得や税額の上昇の中での特別職の改定に反対。

可 決

起立採決の結果
賛成11人
反対4人

復興事業終盤 防潮堤・道路建設に疑問の声も

**案 議
議 審**
12月定例会



仮契約書で工事が進行

既に終了していた地盤改良工事は、前に工事が行われたが。地盤改良機を一度返すと再調達に時間がかかるため、申し訳ない。
問 (今野雄紀議員) 仮契約書で工事がほぼ終了しているが。
答 これから進める変更内容が仮契約書にある。

折立漁港左岸防潮堤



動議により現地確認

討 論

反対 (今野雄紀議員) 建設課は大変な思いで進めていると思うが、議員は執行部を監視する役目がある。
賛成 (後藤伸太郎議員) 防潮堤ができないうことで直接損害を被るのは町民である。可決すべき。

起立採決の結果
賛成12人
反対3人

高野会館への取り付け道路 1億円かけ復旧整備 請願者の同意なく



**神割崎キャンプ場
管理引き続き
観光協会に**

問 (倉橋誠司議員) 請願者は工事に同意していないと言っているが。
答 請願者から手紙は届いているが未回答である。
問 (千葉伸孝議員) 今の答弁は横暴だ。また、残土を残したまま工事ができるのか。
答 一部の方から同意は取れていない。残土撤去の入札は不調だった。

討 論

反対 (倉橋誠司議員) 請願者の同意がなく、条例上疑義がある。
賛成 (後藤伸太郎議員) 土地所有者のために速やかに整備すべき。
反対 (及川幸子議員) 工事繰り越し予定が既にあり再提案を求める。

起立採決の結果
賛成10人
反対5人



手ぶらでキャンプも

問 (倉橋誠司議員) 利用状況は。新たなイベントは。
答 年間1万5千人が利用。地域おこし協力隊とアウトドアのコラボを。
問 (千葉伸孝議員) 経営は計画通りか。
答 シーズン中の週末はほぼ満杯。試験的に冬季の利用も開始している。
問 (及川幸子議員) 潮騒まつりの再開は。
答 石巻市北上支所と連携し復活させた。

危機管理

台風被害の教訓から危機管理課の復活を

町長 災害対策は全庁体制で



千葉 伸孝 議員

令和元年11月で全国に18万人が資格取得しているが、町内での数は把握していない。

問 防災士の資格取得への支援と助成の考えは。

答 今後検討していく。

問 河川堤防の無い場所の防災対策は。

答 天然護岸は原形復旧が原則ながら、不可能な場合は形状や構造など改良を加え、被災前とは異なる形状の復旧となる。

問 八幡川の小森から御前下地区の商店街の洪水被害の補償は。

答 特にない。

問 床上・床下の被害は。

答 床上浸水は9戸、床上下浸水は10戸。

問 今後どういう対策を講じるのか。

ち14件に災証明書が発行した。

問 被災したグループ事業の建物の復旧支援策は。

答 宮城県知事に解体や廃棄を報告すると、補助の返還金は発生しない。相談窓口は商工会。また、支援策として保険対応が前提で、給付を受けた後に、補助金・融資などの制度がある。

問 弘川ダムの防災対応は。

答 宮城県管理で、大雨洪水警報の発令時に洪水警戒体制に入り、当町と連絡体制で行った。

問 放流はあったのか。

答 翌日に流量量の基準となる毎秒10トンを下回ったため、洪水調整を終了した。伊里前川への放流はしなかった。

問 入谷横断1号線の道路復旧は。

答 並行して流れる桜葉川や、橋梁においても大きな被害が発生し、国の災害復旧事業を活用しながら復旧を進める。

問 入谷横断1号線の今後の整備は。

答 社会福祉整備総合交付金を活用して進め、今年度は延長200mの区間を発注している。

問 横断1号線の熊田橋から秋目川地区の通行止め区間の復旧はいつ頃か。

答 12月中の開通を予定している。

問 横断1号線を避難道と位置づけ、志津川中学校からアリーナへの新ルートのか。

答 年数がかかるがこのまま整備をすすめる。

ここが聞きたい

12月定例議会では、9人の議員が15項目について一般質問を行い、各分野のさらなる復興について議論が展開されました。(一般質問の本文は、質問者の原文のとおり掲載しています。)

一般質問

問 ハザードマップとは。

答 町内の土砂災害警戒区域をレッド・イエローとゾーン区分けし、津波浸水実績や避難場所を地図情報にまとめたもの。

問 防災マップの作成は。

答 津波シミュレーションが整ったあと、反映させる。

問 今後の改定時期は。

答 令和4年度まで調査し変更する。

問 防災士の資格取得の町内の人数は。

答 民間の資格であり、



桜葉川の氾濫

問 被災規模・内容により検討が必要。里道や水路の維持管理は、人的資源や財源を考慮すると全被災は、隣接関係者の協力で実施を考えている。

問 生活に必要な里道が法崩れで機能しない状況である。処置を考えては。

答 急傾斜工事になると受益者負担や戸数の課題がある。解決すれば、県に申請は可能と思う。

災害復旧

被災農地の早期対応と支援策は

町長 作付けに向け復旧を急ぐが一部の経費負担がある

問 災害申請や、災害査定などからも外れた箇所について、復旧対策は。

答 被災金額や規模により、国の災害復旧事業の基準に満たない箇所は、起債で財源の確保を図り復旧事業を進めていく。

問 応急工事は町負担と言っているが、防災担当は心配することなく、復旧に取り組んでもらいたいと会見があったが。

答 精査を行い、国・県と連携しながら取り組んでいきたい。

問 被災箇所の復旧だけでなく、隣接の箇所なども災害関連事業として、全改修が出来ないのか。

答 事前協議と現地調査が大前提であり、多額の経費負担や用地の確保が必要となる。

問 河川・道路災害の復旧計画と、今後の維持管理はどのような考えでいくのか。

答 国へ災害査定を申請し早期の復旧を目指す。新年度には予算を計上し工事を考えている。維持管理は町内を4地区に分け、パトロールを実施し管理を行い、限られた財源で進めていく。

問 近年の災害は激甚化している。現況復旧だけでは今後の災害には対応出来ないと思うが。

答 災害を繰り返さない復旧は県も言っているが、国からは返答がない。

問 町と個人管理の橋があり、台風被害で落橋や流失している。復旧をどのように考えているか。

答 町管理の橋は町で復旧、個人の橋は所有者が復旧する事になる。

問 被災した農地復旧は、どのような計画か。

答 町管理の農道・水路は町単独で復旧し、耕作放棄地を除く個人所有の農地は農家で復旧していただき、経費の1/2以内、上限20万円由来年度以降の作付け条件で補助金を交付する考えである。

問 河川沿いの農地に堆積している土砂は、護岸工事の中で撤去はできないのか。

答 河川工事は、農地を借地し工事を行う事から、

問 占田の用水堰の復旧は考えているか。

答 占用申請のない用水堰は違法占用物件に付き、撤去指導になる。設置する場合は協議が必要。

問 占用申請のない用水堰は撤去指導だが、水田は水がないと耕作はできない。農地復旧の中で復旧する事はできないか。

答 農地復旧支援制度の中で、対応を考えたい。

問 法定外公共物で緊急対応の必要箇所がある。対応策は考えているか。

答 被災規模・内容により検討が必要。里道や水路の維持管理は、人的資源や財源を考慮すると全被災は、隣接関係者の協力で実施を考えている。

問 生活に必要な里道が法崩れで機能しない状況である。処置を考えては。

答 急傾斜工事になると受益者負担や戸数の課題がある。解決すれば、県に申請は可能と思う。



被害のもと、支障木



佐藤 正明 議員



甚大な被害を受けた農地

総合戦略

成果が出たのに事業内容の変更は何故か

町長 婚活事業のゴールは成婚である



菅原 辰雄 議員

ラキラな出会い応援事業」として結婚支援サービスを使った取り組みに変更した。

変更内容と反響・目指すところは。

南三陸町も人口減少が続いており、対策に昨年度から120万円の予算で、結婚活動の支援事業を行ったが成果は。

婚活パーティー開催の支援を行い町内から、男性5名が参加。カップルの成立など一定の成果は出ている。

成果が出たのに事業内容の変更は何故か。

婚活パーティーではカップル成立で終了である。婚活事業のゴールは成婚であり「南三陸町キ



平均期間は7.6か月。1年で60%の成婚率であり、当町の5名中3名くらいが結婚へ、と期待している。

志津川高校魅力化事業の活動目標と効果は。

平成16年に当時の中学生と父兄に志津川高校に何を求めるか、アンケート調査を行い一番多かった学力向上への思いを叶えるため、県内で初めて学校に公営塾「志翔学舎」を設立。利用率は56%と高いが、志津川高校志望に繋がっていない。

魅力化協議会としての方向性は。

中高一貫教育の全員でも70名であり、学科のあり方・魅力ある部活を考え越境入学者を増やすことなどを県教委へ提言したい。

観光戦略としての「しおさい通り」への考えと海辺の広場へ大屋根建設の考えは。

庁予算でイベント開催など、調査を行っている。広場への大屋根建設は、面積などで無理であり当面仮設魚市場を活用する。ネイチャーセンターを公設民営化の考えは。

治山治水

八幡川の付け替えを

町長 県に要望していく

全国各地で集中豪雨災害などが頻発している。当町でも、土砂災害警戒区域などの指定後、防護柵設置工事など、具体の対策が行われていないが、全国指定箇所が膨大で、すべてに対応できず、災害発生の可能性があるときは避難する。

治水対策で県管理河川、八幡川の小森地区の急カーブ解消へ河川流路の付け替えをすべきでは。

県内でも急カーブ部分での決壊も多く、小森



急カーブは氾濫の要因に

水産振興

養殖ワカメのブランド化を

町長 ラムサールの冠も考えられる

南三陸ブランドを確立するには、安定した種苗生産が可能なタンク採苗技術が必要である。指導員の育成を。

タンク採苗の技術マニュアルは既に確立されており、県の水産指導員の指導が受けられる。

今はフリー配偶体からの種苗生産方法が開発され、良い品種を確実に短期間で採苗でき、その種苗を長年保存できる。そのような技術は持っていないと思うので、県



星 喜美男 議員

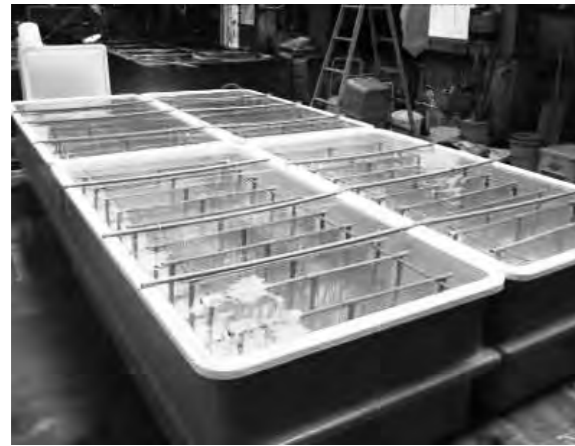
湾内の詳細な海水状況の情報提供をできないか。現在、県の水産試験場が行い公表している。ラムサール湿地保全計画の策定に伴う環境基礎調査

データを蓄積するので、その情報の提供は可能だ。

現在、町内のワカメ養殖事業者は500人弱で、正組合員の約75%が関わっている。本町の産業でこれほど多くの事業者が関わる産業は他にない。また、種苗生産もブ

ランド化も、ある意味伸びしろの部分で経済効果も大きい。ワカメ養殖を一次産業の核と位置づけて、安定した生産体制の構築に十分な支援体制を。

秋サケの不漁など苦戦している。水産業は町の基幹産業との位置付けもあり、養殖ワカメはある意味安定産業なので、研究を重ねしっかりと取り組んでいく。



タンク採苗

災害復旧

海岸線崩落の改修を急げ

町長 県と連携で事業創設を要望



戸倉地区の崩落現場

東日本大震災の大津波で海岸線に発生した崩落箇所の把握はできているか。

最近では、台風19号の通過後に調査を行い、戸倉7か所、歌津4か所と確認している。

震災の復興交付金事業で改修すべきでは。

海岸線の崖崩れは、復興交付金事業メニューが無いため、災害復旧や国庫補助事業等、各種事業を活用して県が対応している状況だ。

通学路の安全確保は

町長 制度の周知を図りながら危険なブロック塀は撤去



佐藤 雄一 議員

問 小学校周辺の全通学路の既存ブロック塀等を対象にした実態調査が、

問 県内で行われ町内においても、要改修が7か所あると県に報告された。その後の所有者への指導と町の対応は。

答 半径500mの通学路を中心に点検を行い安全確認ができない塀の所有者にお知らせをした。

問 今年度より危険な塀の撤去をする所有者に対し、1件当たり15万円を上限に補助制度を創設した。



復旧を待つ学校施設と通学路

問 今後も地域、学校と連携を図り、児童生徒の通学路の安全確保をしていく。

答 危ない箇所、要改修場所の位置づけと、誰でも見てわかる目印となる表示、看板等設置することはできないか。

問 あくまでも個人の財産であるため難しい面もある。県ではホームページ上で公表する方針。万が一事故が起きたら、

問 補助制度を理解していただき、危険な部分については撤去していただく働きかけをしていく。

答 入谷小学校バックネット後ろのがけ崩れについても、通学路でもあり、避難道路でもある。早急に復旧ができないものか。

問 補助制度を理解していただき、危険な部分については撤去していただく働きかけをしていく。

1歩すすめて

台風被害を改良復旧でせよ

町長 原形復旧でも、再度災害の防止へ対応する

問 台風被害のあった場所が、同じような災害でも守れるような改良復旧事業でできないか。

答 今回の被害箇所は、事業採択に必要な要件を満たしていない。

問 高台移転の安心安全は確保されたのか。

答 2カ所で、のり面が崩れた。

問 多自然な川づくりという意味で、ふとんカゴを多用して、小さな川や堰などを復旧できないか。



安心安全そして地域の利便性も改良復旧で

問 利用する川もある。ただ条件があり、河床に

答 復旧していくのか。応じて使い分けをする。

問 今回218カ所。今後の復旧をより安心安全を高めるために、限られた条件の中、どのように

問 復旧していくのか。制度の中で、しっかりと再度災害が起きないように復旧していきたい。

答 制度の中で、しっかりと再度災害が起きないように復旧していきたい。

問 今後の復旧をより安心安全を高めるために、限られた条件の中、どのように

問 ここは教育施設というところで、文科省の災害査定を受ける予定。完全に復旧できるかは今の時点では明確な答えはできない。

問 今後入谷公民館建設にあたって、工事が始まった場合の通学路の期間

実証検証

E V車の利用状況と今後は

町長 今後は2人乗り等含めて展開を

問 高齢者の交通弱者に對して有効性や、E V車の利用状況と今後の考え方は。

答 2つの拠点に5台配車した。その利用者は25人と想定を下回った。あくまでも実証事業で、1人乗りでは利用に限界がある。今後は2人乗りを含めた形での展開を考えている。

問 免許の返納をする人の足となるシニアカーを購入する方に、町からの補助的な考えはないか。



これからの高齢者の足となる乗り物

問 中の変更はあるのか。今通行止めをしている部分を利用するしかないと考えている。迷惑をかけるが東側の道路を利用していただきたい。

問 今後入谷公民館建設にあたって、工事が始まった場合の通学路の期間

問 高齢者の移動手段としての乗り物の対応は。そういった新しい超小型モビリティが一般的に利用となれば、地域でシェアリングするとか、仕組み作りは今後検討が必要かと思う。

問 高齢者がコミュニティの場所に自由に行ったり来たりする安全な乗り物だと思うが、補助があれば返納する方も増えるのではないかと考えるが、

答 検討はするが、ご期待に添えるような結果になるかどうかは別の問題。いずれ検討はさせていただきたいと思う。

ひとり暮らし

高齢世帯の見守りは

町長 行政、支援機関、住民による連携で

問 避難行動要支援者の台帳整備状況は。

答 現在227名が登録済み。高齢のみ、独居、2人暮らし等を含め997世帯になる。

問 町のホームページで高齢者支援を開いたら3項目。その近くの子育て

答 支援の項目は18あった。この配分が、そのまま町の取り組みへの力の入れようが出ていないか。

再稼働へ

女川2号機、住民の安心安全の確保は

町長 県が主体となつて、必要な対策を行う

問 今後、新たな避難道の整備は。

答 既存の道路網で対応。風向きなどでは、三陸道を両車線一方通行での避難は。

問 398号線と三陸道の避難は。

問 戸倉中学校の体育館を簡易的なシエルターとして活用できないか。

答 そのような改修は、不可能だ。



戸中体育館に簡易的なシエルター機能を持たせ、有効な利活用を

初動検証

震災の初動対応、検証結果は

町長 一定の成果はあったが、さらに精査していく



後藤 伸太郎 議員



アンケート回収率は32.4%

等へ伝承する」というこの報告書作成の目的を達成できるか。

集まり、お互いの記憶を補い合うやり方もあったかと思う。

「初動」とはどこまでの範囲なのか。

報告書の内容が希薄ではと指摘しているのは、これを防災、減災に役立てることが最も重要と思

あの日、あの時の職員

報告書にある災害対策本部の様子と自分の記憶とが食い違う部分もある。検証の仕方として、アンケートや個別の聞き取りだけでなく、当時同じ場所にいた人どうしで



教訓をどう次世代へ伝えるか

そういう目的ではない。震災直後の動きについては、平成25年に災害検証支援業務で消防団等も含めて調査しており、今回は災害対策本部の運営についての検証に主眼

震災時の職員による初動対応を検証した報告書が作成され、町のホームページ上で公開されているが、内容が希薄に感じる。作成にかかった期間は。

依頼先は震災前の防災計画策定等にも関わっており、客観的な検証ができるか疑問だが、問題はないのか。

示されているが、表面的な対策にとどまっていると感じる。例えば、震災直後多くの職員が危機管理室に殺到してしまったことに對して、職員個々がワンセグTVなどを所持し、自身の身の安全を守ることに望ましい、とある。この内容で「課題や教訓を整理し、課題に對する対策の方向性等を取りまとめ、他の自治体

環境白書

環境基本計画策定後の進捗は

町長 目指すは、未来の子どもたちへの贈物

地球規模で温暖化が深刻になってきている。

基本目標を掲げ、重点プロジェクトとして7つの事業を実施し、環境白書にて公表している。令和2年度中には目標値を設定する予定。

南三陸材利用促進事業があるが、利用対象を広げる考えは。

町民憲章第4節に「大きな自然の手のひらに抱かれていた町南三陸」とあり、南三陸町環境基本条例前文には「豊かで恵まれた自然環境の保全及び創造に向けて条例を制定する」とある。

自然環境について、「自然環境保全・再生とその継続及び調和」という基本目標に向かって、「復興の先を見据えた生

町内での建築資材としての利用件数は減ったが、新たな家具を設計したり子ども向けの玩具への支援を展開したい。

「次世代に向けたエコタウンの構築」とあり、スペイン開催のCOP25では、温室効果ガスの濃度が最高値を更新したという。当町の省エネルギー対策推進事業は。

LED照明、PHV車、太陽光パネル等で、二酸化炭素排出量は約300t削減している。

環境教育・人材育成について、「子どもたちに伝え続ける」という言葉に沿いながら、次世代の環境保全の担い手の育成を目指すところがある。

南三陸町環境基本計画を策定し4年目にあたるが環境施策の進捗は。

循環型社会の基本目標は、「循環型社会の構築」とあり、平成30年度のリサイクル率は28%だった。今後の目標は。

令和2年度中には40%程度を目標値としてお

震災後の取り組みも含めて環境科が好ましいと教育長にも言ってきた。高校側としっかり議論をした上で、県教委の方へとなる。



倉橋 誠司 議員



美しい南三陸町

環境基本計画策定後の進捗は。

環境科が好ましいと教育長にも言ってきた。

環境科が好ましいと教育長にも言ってきた。

命をつなぐ仙台直通バスが廃止

町長 地域住民の要望活動に期待



及川 幸子 議員

三陸道延伸により、宮城交通仙台高速バスが7月1日より、歌津升沢停留所が廃止されたが、町としてどんな取り組みをしたのか。

た。住民の要望活動があるようなので、後方支援をしていきたい。

廃止から半年たつていますが、その間どんな交渉を重ねてきたのか。

最初の計画では、4月20日から廃止したいと宮交から直接の申し出が

あった。しかし、町として受け入れられないことと存続を希望した。3月に副町長が要望書を宮交に持参したが、4月に残念ながら「7月から廃止」の連絡があった。容認したわけではない。結果的には廃止にな



仙台直通バス

仙台市内へ直接乗り入れできる貴重な手段であるので、存続に向けた要望をした。

町民の命を守るはずの直通バスが、歌津を通過して志津川まで行くことを町民は嘆いている。

最終的には民間事業者の判断として廃止され

り、困ったのは住民である。当時、各区長と協議して進めるとの話だったが、頓挫しているのか。

町が先導して要望活動を行うことではないが、地域から要望活動をした

いの話が出ていたので、仲介役はしたい。

町民が困っているのに仲介だけではないのか。

宮交としては、採算も含めた中で乗客が一人では継続運行は難しい。

一人と言うが、柘沢では多くの人が朝に通院

等で乗車していた。それは津谷営業所でも知っていた。6往復だから12で

割ると一人になる。朝の時間帯だと12人である。

朝だけでも運行してもらいたい。

これは地域の活動等しかないかと思う。

自動車もなくなり、今度は直通バスまでなくなると、陸の孤島となり、

基幹事業だけでは、復興庁から整備費用が認められなかった。

年末に公園の一部開園するが、台風19号の被害はなかったのか。

開園エリアにはなかったが、防災庁舎付近が

完成間近の中橋

冠水し、配電盤の部品を交換した。

事故が起きたら誰の責任か。

丁寧な原因の解明により負担割合を決めたい。

11月臨時議会 議案一覧 3件 (工事3件)

Table with 3 rows of council proposals (議案第110号, 111号, 112号) including titles and brief descriptions.

12月定例議会 議案一覧 28件 (条例8件、工事12件、財産3件、指定2件、予算3件)

Table with 28 rows of council proposals (議案第113号 to 140号) including titles and brief descriptions.

12月臨時議会 議案一覧 4件 (条例3件、予算1件)

Table with 4 rows of council proposals (議案第141号 to 144号) including titles and brief descriptions.

12月定例会採決状況一覧

Table showing voting results for 12th month regular meeting proposals, including names of council members and their votes.

※採決結果欄：(○)は賛成、(×)は反対。議長は表決に加わりません。賛否同数の場合、裁決します。

12月臨時会採決状況一覧

Table showing voting results for 12th month special meeting proposals, including names of council members and their votes.

※採決結果欄：(○)は賛成、(×)は反対。議長は表決に加わりません。賛否同数の場合、裁決します。

生活環境の悪化と、若い人が住まなくなる要因である。交通体系の整備は基本法に基づき、町が考えるべきことと思う。

祈念公園

町民の心がゆるぐ一部開園

町長 今年秋の全部開園に向け期待大

6.3haを祈念公園と都市公園2つの公園にした理由は。

基幹事業と効果促進事業2つの復興交付金を充当したためである。

祈念公園としては、6haそれでも大きすぎたのではないかと。そもそも公園は町民の要望があったのか。

基幹事業だけでは、復興庁から整備費用が認められなかった。

年末に公園の一部開園するが、台風19号の被害はなかったのか。

開園エリアにはなかったが、防災庁舎付近が

完成間近の中橋



冠水し、配電盤の部品を交換した。

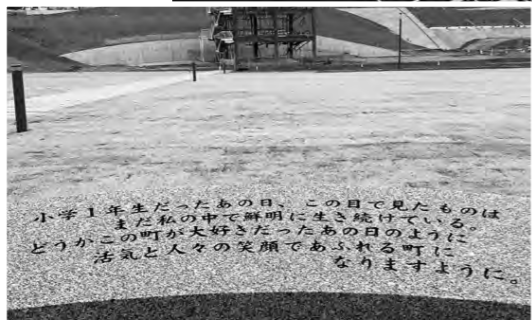
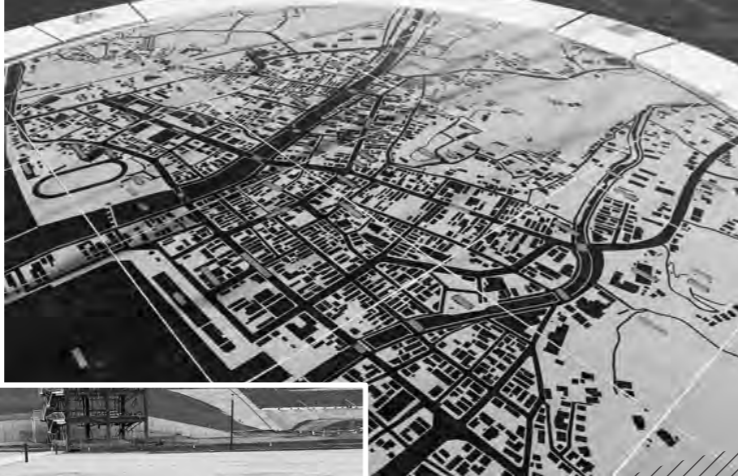
事故が起きたら誰の責任か。

丁寧な原因の解明により負担割合を決めたい。

町民の命を守るはずの直通バスが、歌津を通過して志津川まで行くことを町民は嘆いている。

12月17日、犠牲者の鎮魂と防災を伝える場として整備が進められてきた祈念公園の一部「祈りの丘」と「復興祈念のテラス」1.2haが完成し、およそ100人が参加して除幕式が行われました。高さ20mにある「祈りの丘」には、家族の了解を得られた804人の名前を記した名簿が納められた石碑が設置され、避難場所としても活用されることから周辺のベンチの下には備蓄品が備えられています。

また、12月24日には、職員など43人が犠牲となった防災対策庁舎から100mほどの場所にある「復興祈念のテラス」周辺に献花台の4度目の移設が行われました。公園の全面オープンは今年秋ごろになります。



震災復興祈念公園

一部開園

議会のき
議うごき

議員定数削減

13

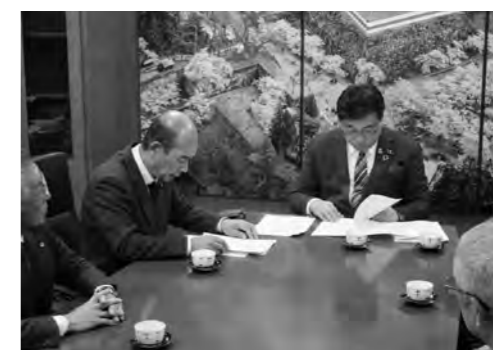
東日本大震災対策特別委員会

道路補修など関係省庁に要望活動



内閣官房
西村官房副長官へ

令和元年11月21、22日に、和田政宗参議院議員の案内で、初日は首相官邸・財務省・国土交通省・復興庁、翌日は宮城県選出国会議員を訪問し、震災復興に対する継続的な支援等への要望活動を全議員で行いました。



復興庁 菅家副大臣へ



中央要望



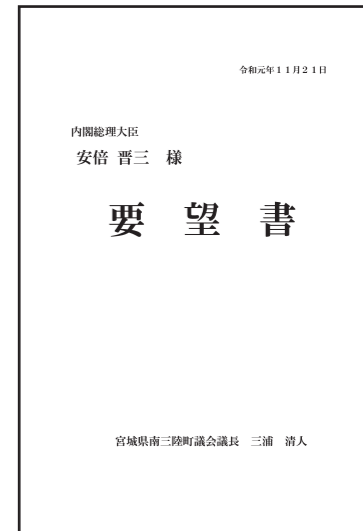
国土交通省 和田政務官へ

議会活性化特別委員会

10月30日、2年後に予定される改選からの議員定数を定めるため、特別委員会が開かれました。

全員が自分の意見を述べ、決選投票をおこなった結果、現在の16人から3人減の、13人になることが決まりました。

←くわしい議論の内容は次ページに！



3減か4減か、 無記名投票で決定

山内昇一委員	後藤清喜委員	山内孝樹委員	菅原辰雄委員	高橋兼次委員	今野雄紀委員	村岡賢一委員	及川幸子委員	佐藤正明委員	後藤伸太郎委員	千葉伸孝委員	佐藤雄一委員	倉橋誠司委員	須藤清孝委員
13人	12人	13人	13人	14人	7人	12人	14人	13人	12人	11人	13人	13人	12人
町内4地区から3人ずつ+1	定数と報酬は連動させずに	間口狭くとも新進気鋭の志で	なり手不足解消に報酬増を	民意の反映に一定数は必要	半減させ発言機会の増加を	人口減社会の情勢に合わせて	もっと女性が議論の場に	中山間地域の声も大切に	少なくとも4減が町民の声	報酬25万に上げ少数精鋭に	委員会活動に支障のないよう	3常任委員会1人ずつ減で	人口千人に議員1人が良い

議会へのお願い

陳情書

- 公共建築物等への瓦屋根仕様の採用および木造住宅の耐震補強改修時の屋根葺き替えならび棟瓦耐震補強の助成金について
宮城県瓦工事業組合 理事長 米山 弘明
- 学校教材の計画的な整備推進についてのお願い
一般社団法人 日本教材備品協会 会長 大久保 昇

これらの陳情書は、議員に配布しました。

○陳情8の1

ライドシェア反対、地域公共交通の充実を求める意見書採択の要請

【陳情要旨】

ライドシェアは、交通機関にとって絶対不可欠な安心・安全が確保されないという致命的な欠陥があります。導入した国では、事故や犯罪が多発する結果を招き、禁止や再規制にふみだす国が多くなっています。こうした危険な交通手段が、わが国で認められないようにしなければなりません。つきましては、ライドシェアの導入に反対し、地域公共交通の充実を求める意見書を採択して、政府に提出してください。

陳情者 自交総連東北地方連合会 執行委員長 本間 昭

○陳情8の2

政府及び国会に対し「ライドシェア」に関する意見書の提出を求める陳情書

【陳情要旨】

東日本大震災から8年余りが経過し、集中復興期間から「復興・創生」という新たなステージに入ってきている中、その担い手の一員として地域公共交通の責務を果たそうと努めております立場からは、白タク行為を認めようとする動きは大きな懸念材料となっております。つきましては、国民の安全を脅かすとともに、地方創生の担い手である地域公共交通の存続を危うくする「ライドシェア」と称する白タク行為が認められることのないよう、政府及び国会に対し、意見書を提出されるようお願いいたします。

陳情者 一般社団法人宮城県タクシー協会 会長 佐々木 昌二

これらの陳情書は、総務常任委員会へ付託されました。

○陳情8の3

JR気仙沼線の鉄道事業廃止届撤回に関する陳情書

【陳情要旨】

鉄道事業廃止届が決定されれば、当地域での鉄道事業復活の望みが完全に断たれてしまいます。鉄道の復活は新たな町が出来上がった今こそ、将来を見据えた恒久的な公共交通の整備が必要であると思えます。つきましては、東日本旅客鉄道株式会社に対して気仙沼線の鉄道事業廃止届を撤回することを要望していただくようお願いいたします。

陳情者 三陸沿岸を鉄道でつなぐ連絡協議会 会長 畠山 光夫

この陳情書は採択され、要望書を提出することになりました。

委員会の中では、それ
その内容を概ね上記のと
おり。報酬については今
回決定するものではない
が、関連もあるので言及
する委員もいた。
全員の意見が出揃った
後、内容について討議し
議論を深めるべき、とい
う意見も出されたが、賛
成少数により委員間討議
はおこなわれなかった。
●決選投票は無記名で
出された意見に過半数
を占めるものがなかった
ため、上位2案による決
選投票に。記名式にする
と本意でない意思表示が
出る可能性があるため、
無記名でおこなわれた。
他事記載などの無効票が
出る結果となったが、得
票数1位が過半数となつ
たため、13人に決定され
た。

●開票結果

13人・・・9票
12人・・・3票
無効・・・2票

議会構成

改選から2年、委員会構成に変更がありました。

総務常任委員会

委員長 後藤伸太郎委員
副委員長 菅原辰雄委員
委員 山内昇一委員
後藤清喜委員
星喜美男委員

民生教育常任委員会

委員長 千葉伸孝委員
副委員長 須藤清孝委員
委員 山内孝樹委員
高橋兼次委員
及川幸子委員

産業建設常任委員会

委員長 村岡賢一委員
副委員長 佐藤正明委員
委員 今野雄紀委員
佐藤雄一委員
倉橋誠司委員

議会運営委員会

委員長 星喜美男委員
副委員長 村岡賢一委員
委員 及川幸子委員
佐藤正明委員
後藤伸太郎委員
千葉伸孝委員



わたしの意見 あなたの提言

皆さんの考えをお聞かせください。
投稿お待ちしております!! (400字程度)

「震災を乗り越えて」



袖浜 佐々木 珠美さん
ささき あけみ

震災から8年10ヶ月がたち、南三陸町も新しい生活環境と道路の整備が進み、復興の最終局面に向かっていきます。

この8年10ヶ月、家族もおつびさんが犠牲となり、先代からの自宅・宿泊施設・養殖イカダ等を失い、私もこれほど涙を流した日々はなかったです。

その後、主人の決意により再建に至りましたが、色々な困難があり辛い道のりでした。再建は自分を育ててくれた故郷「南三陸町」を愛する思いにほかならない事を感じ、家族と共に歩んでまいりました。

南三陸町は秋には復興祈念公園が完成し、日本はオリンピックで多くの外国の方々を迎える今年、世界中の方々の御支援に感謝し、私も南三陸

の豊かな食材を通して、出来る限りの真心で「おもてなし」をして参りたいと考えています。

今後は南三陸町の海、自然の豊かさを、多くの皆様に伝え、以前の様に生業（なりわい）を通し、町民の優しさ強さを、交流を重ね知っていたたく活動を、続けていきたいと思えます。

議会から

宿泊業の中で南三陸の海の幸を味わっていただき、その傍らで南三陸町の「復興市」にて、多くの皆さんと共に南三陸町の食材・人情を来場してくださるお客様に伝えて下さい。



袖浜「恋人岬」



三浦清人議長

令和元年11月13日、全国町村議会議長全国大会にて、地方自治の振興に寄与した永年の功績が称えられ、自治功労表彰を受賞されました。また、11月25日、宮城県町村議会議長会臨時総会にて、同会監事としての功績が称えられ、感謝状を授与されました。



山内孝樹議員

令和元年11月8日、宮城県文化の日表彰式にて、地方自治の振興に寄与した功績が称えられ、地方自治功労表彰を受賞されました。

編集後記

町民の皆様には新元号に代わり、初めての正月を家族をそろって迎えられることと存じ、お喜び申し上げます。

今年は東日本大震災から10年目の節目をむかえ、復興計画の最終年度でもあり、完遂に向けて着実に進んでおります。

昨年は近年にないような台風19号が発生し、町内各地に甚大な被害をもたらしました。今年こそは平穏に暮らせることを願うばかりです。

今後の災害復旧に向けて町民皆様の要望に一つでも多く応えられるよう、議員の一人として気を引き締めて取り組んでまいりますので、町民皆様方のご意見をお聞かせください。

議会広報特別委員会

- 委員長 後藤伸太郎
- 副委員長 須藤 清孝
- 委員 倉橋 誠司
- 佐藤 雄一
- 千葉 伸孝
- 菅原 辰雄

次回の定例会は3月開催の予定です。
お気軽にお越しください。

議会の様子はパソコン・スマホから、リアルタイムでもご覧になれます。

「南三陸町 議会中継」で検索♪
(過去の映像も見ることができます。)